

祝「阪神」優勝

秋晴れの候、ますますご健勝の事とお喜び申し上げます。

今月のお題は、祝「阪神」優勝でいきます。

阪神ファンの皆さんおめでとうございます。

18年ぶりのぶっちぎりの優勝、心からお祝い申し上げます。優勝決定の瞬間は選手もファンも本当に喜んで皆すばらしい顔をしていました。中日ファンの私も感動してしまいました。5000人を超える



専務取締役 吉田治伸

人が汚い道頓堀に飛び込んだそうです。昭和57年に中日が優勝した時、カーステレオから「燃えよドラゴンズ」を聞きながら、「今年は良い年だった」と涙を流した自分を思い出しました。

しかし、今年の阪神は何でこんなに強かったのでしょうか。ここ8年で最下位6回、Aクラス入りさえ出来なかったチームが優勝してしまいました。金本、伊良部といった核になる選手を獲得しましたが残りのメンバーは最下位を取り続けたメンバーです。劇的に強い選手がいたわけではありません。

私なりに分析しますと(たくさんの要因はありますが)一言で言うと「気持」の差ではなかったかと思います。星野監督に代わり彼が行ったいろいろな施策が選手を「その気」にさせたり、「その気」にならなくてはいけない状況になったりしたのでしょうか。頂点といわれるレベルでも勝負は、紙一重の差で決まっていたのです。あと1歩の気迫、あと1歩の練習、あと1歩の知恵が結果的に勝利に結びついたのでしょう。

我々の仕事も同じです。

仕事も、あと少しの笑顔、あと少しの気配り、あと少しの技術でお客様に大きな感動を与えることができます。阪神優勝の時の感動的な笑顔を是非仕事でも味わってみたいものです。